

## ▼ミオブロック静注 [注] &lt;製造中止&gt;

【重要度】★★★【透析患者には投与禁忌】 【一般製剤名】パンクロニウム臭化物 (U) pancuronium bromide 【分類】非脱分極型麻酔用筋弛緩剤

【単位】▼4mg/A [2mL]

【用法・用量】初回0.08mg/kg、術中必要に応じて0.02～0.04mg/kg 追加

【透析患者への投与方法】主として腎から排泄されるため排泄遅延によって作用が遷延するため禁忌 (1) 【その他の報告】GFR<10mL/min では避ける (3)

【保存期 CKD 患者への投与方法】Cr<50mL/min :常用量の75～100% (5) GFR 10～50mL/min :50%に減量、GFR<10mL/min :使用を避ける (3,12) 【その他の報告】重篤な腎不全患者では腎機能正常者に比し有意にクリアランスが低下する (McLeod K, et al: Br J Anaesth 48: 341-345,1976)

【特徴】非脱分極性神経筋弛緩剤

【主な副作用・毒性】ショック、アナフィラキシー様症状、遅延性無呼吸など

【吸収】吸収されない (11)

【代謝】3-OH 体、17-OH 体、3, 17-OH 体に代謝される。パンクロニウムの ED50 は0.041mg/kg、3-OH 体の ED50 は0.082mg/kg、17-OH 体の ED50 は2.0mg/kg、3, 17-OH 体の ED50 は2.15mg/kg と代謝物に活性がある。3-OH 体、17-OH 体、の効果持続時間はパンクロニウムと同等だが、3, 17-OH 体の作用時間が短い (Miller RD, et al: J Pharmacol Exp Ther 207: 539-543,1978) 代謝の寄与は低い (U)

【排泄】尿中未変化体排泄率 37～44% (1) 30～40% (12) 80% (U) 最大 25% (11) 重篤な腎不全患者では腎機能正常者に比し有意にクリアランスが低下する (McLeod K, et al: Br J Anaesth 48: 341-345,1976) 胆汁排泄は5～30% (11) 【CL】57.6～187.3mL/min (Somogyi AA, et al: Eur J Clin Pharmacol 10: 367-372,1976) 胆汁うっ滞では健常者の全身 CL である 123mL/min に比し半分の 59mL/min になる (Somogyi AA, et al: Br J Anaesth 49: 1103-1108,1977) 腎不全で低下する (11)

【t1/2】α相: 7～13min (1) 4min (11) 10～13min (U) β相: 108～147min (1) 32min (11) 1.7～2.2hr (12) 89～161min (U) t1/2 β 89.5～161.5min (Somogyi AA, et al: Eur J Clin Pharmacol 10: 367-372,1976) 胆汁うっ滞では健常者の t1/2 である 132min に比し倍の 270min に延長する (Somogyi AA, et al: Br J Anaesth 49: 1103-1108,1977) パンクロニウム 110min、3-OH 体 68min、17-OH 体 73min、3, 17-OH 体 71min (Miller RD, et al: J Pharmacol Exp Ther 207: 539-543,1978)

【腎不全患者の t1/2】4.3～8.2hr (12)

【蛋白結合率】30% (11) 低い (U)

【Vd】中心コンパートメントの Vd は0.063～0.146L/kg (Somogyi AA, et al: Eur J Clin Pharmacol 10: 367-372,1976) 0.21～0.37L/kg (11)

【分布】重篤な腎不全患者では中心コンパートメントへの移行が腎機能正常者に比し有意に上昇する (McLeod K, et al: Br J Anaesth 48: 341-345,1976)

【MW】732.67

【透析性】ある程度透析されると思われる (5)

【TDM のポイント】TDM の対象にならない。0.218 μg/mL 以下で神経筋遮断作用は消失する (Somogyi AA, et al: Eur J Clin Pharmacol 10: 367-372,1976) 0.2 μg/mL 程度が有効濃度 (11) 【O/W 係数】低い (11)

【効果発現時間】投与 30～180 秒 (1)

【効果持続時間】初回量で約 60 分、追加投与時で約 40 分(1)筋麻痺が開始し体内から 45.4%除去され、20%まで回復するのに 83.4min 要し、そのときの血漿濃度は 0.169 μg/mL (Somogyi AA, et al: Eur J Clin Pharmacol 10: 367-372,1976)

【更新日】20140326

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。